

日本の AI 推進法の概要、国内外の評価と日本の課題

Felo AI

日本のAI推進法: 概要・評価・課題

2025年5月28日: AI推進法成立

概要

- 正式名称: 「人工知能関連技術の研究開発及び活用の推進に関する法律」
- 目的: AI研究開発・活用の促進
- AI戦略本部の設置 (総理大臣が本部長)
- AI基本計画の策定 (法律成立後3ヶ月以内)
- 「ソフトロー」アプローチ (罰則規定なし)
- 国際競争力向上を目指す

国内の評価と期待

- AI分野での競争力強化への期待
- 「最もAIを開発・活用しやすい国」へ
- 罰則規定がないことへの懸念も
- リスク対応の具体策が不明確

海外の評価と比較

- EUのAI Act: 規制重視、罰則あり
- 日本: 推進重視の「ソフトロー」
- 米国: 大統領令はあるが包括法はなし
- 韓国のAI基本法と類似点
- 「ライトタッチ」方針への評価
- イノベーション促進と実効性の両立が課題

日本の課題

実効性の確保

- 罰則なしの「ソフトロー」で実効性に疑問
- 悪質事業者への対応策が不明確

リスク対応の具体策

- ディープフェイク、著作権侵害、差別など
- 生成AI特有のリスクへの対応

国民の不安への対応と信頼醸成

AI人材育成と国内開発力

- AI投資・利用率が諸外国に比べて低い
- AI人材の育成が急務

国際的な整合性

- 各国の規制との整合性
- 国際ルール形成への貢献

「デジタル敗戦」からの脱却

- AI分野での立ち遅れを取り戻す
- 社会全体でのAI活用加速

法制度の継続的な見直し

- 急速な技術進化に対応
- 施行後3年を目途に見直し

2025年5月 日本AI推進法概要

概要

2025年5月28日、日本初のAI特化法である「人工知能関連技術の研究開発及び活用の推進に関する法律」(通称: AI推進法)が成立しました[3](#)[14](#)[27](#)。この法律は、日本のAI分野での立ち遅れと技術への不安感を背景に、イノベーション促進とリスク対応の両立を目指すものです[3](#)[11](#)。AI戦略本部の設置やAI基本計画の策定を通じて、国を挙げてAIの研究開発と活用を推進し、国際競争力の向上を図ることが主な目的です[14](#)[20](#)[23](#)。しかし、罰則規定がない「ソフトロー」的アプローチであるため、その実効性やリスク対応については国内外から様々な評価と課題が指摘されています[7](#)[11](#)[24](#)。

詳細レポート

日本の AI 推進法の概要

成立日と正式名称 AI 推進法は、2025 年 5 月 28 日に参議院本会議で可決・成立しました [3 14 27](#)。正式名称は「人工知能関連技術の研究開発及び活用の推進に関する法律」です [3 23 79](#)。

目的と基本理念 AI 推進法の目的は、AI 関連技術の研究開発及び活用に関する施策の基本理念や基本計画を定め、AI 戦略本部を設置することで、AI 研究開発・活用の施策を総合的かつ計画的に推進し、国民生活の向上と国民経済の健全な発展に寄与することです [3 23](#)。基本理念としては、多様な分野での活用、研究開発能力向上、適正利用確保、国際協調、人材育成などが掲げられています [79](#)。日本政府は「世界のモデルとなる制度」を構築し、日本を「最も AI を開発・活用しやすい国」にすることを目指しています [3 17 29](#)。

主要な内容

- **AI 戦略本部の設置:** 内閣総理大臣を本部長とし、全閣僚をメンバーとする「人工知能戦略本部」を内閣に設置し、AI 政策の総合調整や「AI 基本計画」の策定・推進を行います [10 14 15](#)。
- **AI 基本計画の策定:** 政府は、AI の研究開発及び活用の推進に関する施策の基本的な方針や具体策を盛り込んだ「AI 基本計画」を策定します [10 14 23](#)。この計画は法律成立後 3 ヶ月以内に策定される予定です [10 27](#)。
- **関係者の責務:** 国、地方公共団体、研究開発機関、事業者、国民それぞれの責務を定めています [10 79](#)。事業者には、国や地方公共団体の方針に協力する「努力義務」が課されます [6 37 65](#)。
- **研究開発の促進:** AI 関連技術の研究開発加速のため、財政支援や税制優遇、計算資源へのアクセス支援などが盛り込まれています [20 27](#)。
- **人材育成:** AI 専門家や AI を活用できる人材の育成、教育機関での AI リテラシー向上が図られます [27 79](#)。
- **リスク対応:** AI による人権侵害、偽情報拡散、著作権侵害などのリスクに対し、国が調査・分析を行い、事業者への指導・助言、情報提供などの措置を講じることが規定されています [3 14 16](#)。悪質な事業者名の公表も可能ですが、直接的な罰則規定はありません [16 29 71](#)。

「ソフトロー」的アプローチと罰則規定の不在 AI 推進法は、規制よりも支援を重視する「理念法」であり、「ソフトロー」的アプローチを採用しています [20 24 31](#)。技術革新を阻害しないよう、現時点では直接的な罰則規定は設けず、事業者の自主性を尊重する形となっています [7 11 16](#)。この点は、厳格な規制と罰則を伴う EU の AI Act とは対照的です [27 46 54](#)。

国内の評価と期待

国内では、AI 推進法の成立により、日本の AI 分野での競争力強化やイノベーション促進への期待が高まっています [3 8 12](#)。特に、これまで AI 開発・活用で諸外国に遅れを取ってきた状況からの脱却を目指す姿勢が評価されています [3 11 14](#)。政府が「最も AI を開発・活用しやすい国」を目指すことを表明していることも、産業界からは前向きに受け止められて

います [3 17 29](#)。一方で、罰則規定がないことによる実効性の低さや、リスク対応の具体策が不明確である点への懸念も指摘されています [7 14 26](#)。

海外の評価と比較

EU の AI Act との比較 EU が 2024 年に可決した AI Act は、リスクベースで AI を分類し、高リスク AI には厳格な義務と高額な制裁金を課す「規制重視」のアプローチです [4 15 18](#)。日本の AI 推進法は、これとは対照的にイノベーション促進を優先し、罰則を設けない「推進重視」の「ソフトロー」です [6 27 46](#)。この違いから、日本のアプローチは「緩い」と評価されることがあります [11 28 47](#)。

米国の動向との比較 米国では、2023 年 10 月に AI に関する大統領令が発令されましたが、包括的な AI 法は未成立で、既存サービスは対象外とするなど、EU とは異なるアプローチです [2 4](#)。2024 年末には、トランプ大統領（当時）がバイデン政権の AI 大統領令を撤回するなど、規制緩和の動きも見られます [2 83](#)。日本の「ライトタッチ」な方針は、こうした米国の動向とも一部軌を一にすると考えられます [2 9 60](#)。

韓国の AI 基本法との類似性 日本の AI 推進法は、韓国の AI 基本法と類似していると指摘されています [18 49 64](#)。これは「AI の振興を 8 割、ソフトな規律を 2 割」といったバランスの法律とされています [18 49](#)。

「ライトタッチ」「ソフトロー」アプローチに対する海外の見方 日本政府は、2025 年初頭に AI 規制の方針をより慎重な「ライトタッチ」アプローチへと転換しました [2 9 60](#)。これは、2024 年前半の規制強化の動きからの方針転換であり、既存の分野別法規と事業者の自主的なリスク軽減策に重きを置くものです [2 9 13](#)。この方針は、AI イノベーションを促進する一方で、施行可能な権利や説明責任メカニズムの欠如について批判される可能性も指摘されています [6](#)。海外からは、日本の「ソフトロー」アプローチが技術開発を後押しする一方で、実効性に疑問符がつくとの見方もあります [24 41 44](#)。

DeepSeek Shock の影響と日本の対応 2025 年 1 月、中国のスタートアップ DeepSeek が発表した高性能かつ低コストな小規模 AI モデルは「DeepSeek Shock」として日本でも注目されました [2 82 83](#)。しかし、AI 推進法の基本方針は、この出来事の前後で大きな変更はなかったとされています [2 83](#)。

日本の課題

実効性の確保 罰則規定がなく、事業者の自主的な協力や努力義務に依存する「ソフトロー」であるため、AI 推進法の実効性が最大の課題とされています [7 11 26](#)。特に、悪質な事業者への対応や、国民の権利保護の具体策が今後の焦点となります [7 16 29](#)。

リスク対応の具体策 ディープフェイクによる偽情報拡散、著作権侵害、プライバシー侵害、AI による差別など、顕在化するリスクへの具体的な対応策の構築が急務です [3 7 14](#)。特に、生成 AI 特有のリスクに対して、より踏み込んだ対策や法整備が求められる可能性があります [46](#)。

国民の不安への対応と信頼醸成 AI 技術に対する国民の不安は根強く、「現行の規制や法律で AI を安全に利用できる」と考える日本人は少ないのが現状です [3](#)。AI の透明性や公平性を確保し、国民の信頼を得るための具体的な取り組みが不可欠です [7 46 79](#)。

AI 人材育成と国内開発力の強化 日本の AI 分野への民間投資額や AI 利用率は、米国や中国と比較して著しく低い水準にあります [3 11 19](#)。AI 人材の育成や、国内での AI 開発力を強化することが、国際競争力を高める上で不可欠です [12 14 25](#)。スタンフォード大学の「グローバル AI ランキング」では、日本の総合順位は 9 位（インフラは 3 位）と報告されています [50](#)。

国際的な整合性とルール形成への貢献 EU の AI Act など、諸外国の法規制との整合性を図りつつ、国際的なルール形成に積極的に貢献していく必要があります [6 15 18](#)。

「デジタル敗戦」からの脱却と AI 分野での遅れの克服 日本は「デジタル敗戦」とも言われる状況にあり、AI 分野でも立ち遅れが指摘されています [3 11 12](#)。AI 推進法を契機に、この遅れを取り戻し、AI 活用を社会全体で加速させることが求められます [11 12 25](#)。日本の個人や企業の AI 利用率は、依然として低い状況です [3 11 19](#)。

法制度の継続的な見直しとアップデート AI 技術は急速に進化するため、法律やガイドラインも定期的に見直し、最新の状況に合わせてアップデートしていく必要があります [27 46 80](#)。AI 推進法の附則には、施行後 3 年を目途に見直しを行う旨が記載されています [46](#)。

要約

日本の AI 推進法は、AI 技術の研究開発と活用を国家戦略として推進するための重要な一歩です。AI 戦略本部の設置や基本計画の策定を通じて、イノベーションを促進し国際競争力を高めることを目指しています。しかし、罰則規定のない「ソフトロー」という特性から、その実効性やリスク対応能力については国内外から様々な評価があり、多くの課題も抱えています。特に、ディープフェイクや著作権侵害といった具体的なリスクへの対応、国民の信頼醸成、AI 人材育成、そして国際的なルールとの整合性確保などが今後の重要な論点となります。AI 技術の急速な進化に対応するため、法制度の継続的な見直しと実効性のある運用が、日本の AI 戦略の成否を左右すると言えるでしょう。

- [1. Understanding AI Regulations in Japan – DLA Piper](#)
- [2. New Government Policy Shows Japan Favors a Light Touch ...](#)
- [3. 【速報】AI 活用推進法が成立：概要と企業への影響](#)
- [4. AI 規制をめぐる、世界各国と日本の動向](#)
- [5. “AI 推進法”が日本に誕生へ 活用とリスクをどう両立させるか？](#)
- [6. Japan's 2025 AI Act: Soft Regulation for Innovation](#)
- [7. 生成 AI 時代の日本、出遅れを取り戻せるか？「AI 推進法」成立 ...](#)
- [8. BSA Statement on Japan AI Legislation](#)

9. [Less regulation, more innovation in Japan's AI governance](#)
10. [日本の「AI 新法」とは？概要から施行後の変化 – NOB DATA](#)
11. [AI 推進法とは？世界で最も緩い AI 法制が誕生](#)
12. [「AI 推進法案」の参考人質疑で話された内容とは？ – note](#)
13. [Unpacking Japan's AI Policy with Hiroki Habuka – CSIS](#)
14. [AI 法が成立 人工知能の研究開発推進へ リスク対応に課題](#)
15. [Japan's AI Promotion Bill and How It Differs from the EU AI Act](#)
16. [Japan enacts bill to promote AI development and address its ...](#)
17. [<AI Update> 日本の「AI 法」案の概要と実務上のポイント ...](#)
18. [AI 推進法と世界の AI 規制、これってどういうこと？ 4つの疑問 ...](#)
19. [AI 技術の開発・活用を推進、悪用事業者は国に調査権 初の法整備](#)
20. [AI 推進法が可決 内容解説と企業がとるべきアクションを考察](#)
21. [Japan's Approach to AI Regulation in 2025 – MoFo Tech](#)
22. [Japan's new AI laws promote R&D, safeguarding the public](#)
23. [人工知能関連技術の研究開発及び活用の推進に関する法律案](#)
24. [innovaTopia – X](#)
25. [AI 推進法案、国会で識者激論：日本の AI 戦略、リスク、法制度](#)
26. [進化続ける AI、日本初の推進法が成立 「攻め」より「守り」に ...](#)
27. [【Flash Report】 Japan Enacts AI Promotion Act – 法律事務所 ZeLo](#)
28. [Japan's New AI Law: Promoting Innovation – ensure ias](#)
29. [日本の「AI 推進法」成立の概要まとめ（2025年5月28日） – note](#)
30. [AI 規制法とは？日本・海外の事例を踏まえ、その内容と影響を ...](#)
31. [AI 推進法とは？企業や国民への影響、今後の展望をわかり ...](#)
32. [AI 新法の全貌を解説：課題と今後の展望（EU AI 規制との比較）](#)
33. [Japan's Inaugural AI Regulations: A Pro-Innovation Approach](#)
34. [【速報解説】 AI 推進法ついに施行！あなたの仕事・ビジネスは ...](#)
35. [欧州も AI 規制緩和へ方針転換、日本企業に「国産 AI の海外進出 ...](#)
36. [AI に特化した国内初の法案を国会へ提出 政府](#)
37. [Japan Plans to Adopt AI-Friendly Legislation – Inside Privacy](#)
38. [AI のリスクに対応し研究開発や活用を推進 新たな法律が成立](#)
39. [“AI 推進法”が日本に誕生へ 活用とリスクをどう両立させるか？](#)
40. [Japan's AI Bill Advances Toward Enactment – Connect On Tech](#)

41. [日本の「AI 推進法」、世界はどう見る？海外の評価と日本の ...](#)
42. [Japan's AI Bill Advances Toward Enactment – Lexology](#)
43. [Japan's AI regulations – Diligent](#)
44. [innovaTopia – X](#)
45. [進化続ける AI、日本初の推進法が成立 「攻め」より「守り」に ...](#)
46. [AI 推進法とは？企業や国民への影響、今後の展望をわかり ...](#)
47. [AI 推進法とは？世界で最も緩い AI 法制が誕生](#)
48. [BSA Statement on Japan AI Legislation](#)
49. [AI 推進法と世界の AI 規制、これってどういうこと？ 4つの疑問 ...](#)
50. [グローバル AI ランキングで日本 9 位...インフラは世界 3 位、研究 ...](#)
51. [AI 新法の全貌を解説：課題と今後の展望（EU AI 規制との比較）](#)
52. [Japan's Approach to AI Regulation in 2025 – MoFo Tech](#)
53. [生成 AI 時代の日本、出遅れを取り戻せるか？「AI 推進法」成立 ...](#)
54. [“AI 推進法”が日本に誕生へ 活用とリスクをどう両立させるか？](#)
55. [“AI 推進法”が日本に誕生へ 活用とリスクをどう両立させるか？](#)
56. [New Government Policy Shows Japan Favors a Light Touch ...](#)
57. [Japan's Inaugural AI Regulations: A Pro – Innovation Approach](#)
58. [Understanding AI Regulations in Japan – DLA Piper](#)
59. [Japan's AI Bill Advances Toward Enactment – Lexology](#)
60. [Less regulation, more innovation in Japan's AI governance](#)
61. [Japan enacts bill to promote AI development and address its ...](#)
62. [Japan's new AI laws promote R&D, safeguarding the public](#)
63. [【Flash Report】 Japan Enacts AI Promotion Act – 法律事務所 ZeLo](#)
64. [AI の法規制をめぐる各国の動向と日本企業への影響](#)
65. [Japan Plans to Adopt AI – Friendly Legislation – Inside Privacy](#)
66. [AI Watch: Global regulatory tracker – Japan | White & Case LLP](#)
67. [Japan's AI Promotion Bill and How It Differs from the EU AI Act](#)
68. [Unpacking Japan's AI Policy with Hiroki Habuka – CSIS](#)
69. [日本の「AI 推進法」、世界はどう見る？海外の評価と日本の ...](#)
70. [日本の「AI 新法」とは？概要から施行後の変化 – NOB DATA](#)
71. [AI 法が成立 人工知能の研究開発推進へ リスク対応に課題](#)
72. [AI 推進法が可決 内容解説と企業がとるべきアクションを考察](#)

73. [AI 技術の開発・活用を推進、悪用事業者は国に調査権 初の法整備](#)
74. [<AI Update> 日本の「AI 法」案の概要と実務上のポイント ...](#)
75. [AI 規制をめぐる、世界各国と日本の動向](#)
76. [AI 規制法とは？日本・海外の事例を踏まえ、その内容と影響を ...](#)
77. [欧州も AI 規制緩和へ方針転換、日本企業に「国産 AI の海外進出 ...](#)
78. [生成 AI に関する実態調査 2024 春 米国との比較 – PwC](#)
79. [AI 推進法とは？企業や国民への影響、今後の展望をわかりやすく解説 | AI 総合研究所 | AI 総合研究所](#)
80. [AI 推進法とは？世界で最も緩い AI 法制が誕生 | いまさら聞けない自治体ニュース](#)
81. [AI 技術の開発・活用を推進、悪用事業者は国に調査権 初の法整備 – 日本経済新聞](#)
82. [Less regulation, more innovation in Japan’s AI governance | East Asia Forum](#)
83. [New Government Policy Shows Japan Favors a Light Touch for AI Regulation](#)